

博物館

デスモ生体像が復帰

博物館の門前で「新たなシンボル」として期待

足寄動物化石博物館の入口わきに、デスモチルス生体像を設置しました。「おや、どこかで見たような・・・」と思われた方も多いはず。そう、南5条の公民館の前庭、立木の間にはいたものです。

博物館オープンまで公民館の一室に「化石作業所」がありました。町自前で化石作業に取り組み、軌道に乗り始めた昭和の終わり頃、西町4丁目の千葉進さんが作ってくれました。公民館とおなじ敷地にあった足寄保育所の子どもたちにも親しまれました。

像のモデルは、1977年歌登町（当時）で発見された若いデスモチルス。世界でもっとも保存状態のいい標本です。

招きデスモとして活躍することを期待しましょう。



足寄動物化石博物館 フォストリーあしよろ

No. 82

2007年6月20日発行

089-3727 北海道足寄町郊南1丁目 電話 0156-25-9100 ファックス25-9101

Eメール staff@museum.ashoro.hokkaido.jp

ホームページ <http://www.museum.ashoro.hokkaido.jp> (博物館だよりpdf版あり)

化石体験＝化石を楽しむ博物館

体験クリーニング素材入荷

4月からはじめた「化石体験クリーニング」。たいへん好評で、品切れが心配されました。

このたび、新しい化石が到着しました。モロッコでとれたアンモナイトとサメの歯化石。いままでよりすこし大きいものがふえました。



レプリカづくり新モデル

「化石体験レプリカづくり」も充実です。現在、ビカリア（千数百万年前の、日本列島が熱帯だったころを象徴する巻き貝）とマンモス（数万年前、氷河時代の代表的化石動物）の乳臼歯、二つの型を製作中です。



資料貸出

標本貸出 大人気の足寄資料

夏は、各地の博物館で「特別展示」が開かれます。今年は、道県立博物館3館に足寄博物館の資料を貸し出します。

福井県立恐竜博物館

クジラが陸を歩いていた頃
—恐竜絶滅後の王者—
7月13日～10月8日

千葉県立中央博物館

化石が語る熱帯の海
—1600万年前の日本—
6月30日～9月2日

北海道開拓記念館

鯨
7月20日～10月8日

休館日 || 7月 3日 10日 17日 の火曜日

博物館の動き 7月（館の行事や職員の動き、来館団体、など）

7月	5日	川西中学校のみなさん	16日	釧路市博物館講演（澤村）
	6日	足寄町内小規模校3・4年生のみなさん	18日～20日	北海道博物館大会（函館市、澤村）
	8日	あしよる観光協会町内巡りのみなさん	21日	鹿追小学校PTAのみなさん
	11日	北中音更保育所のみなさん	22日	2007あしよる化石教室
		端野小学校のみなさん		第3回「足寄動物群のふるさとと500
	12日	萩ヶ岡小学校のみなさん		万年前の印象化石」
		川湯小学校のみなさん	24日	とかち帯広YMCAのみなさん
	13日	中標津東小学校のみなさん	27日	帯広東児童保育センターのみなさん